

□

横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.157 (2016年6月30日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 株式会社パソナ

□

本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、ウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた方、各関係機関および企業の方にお送りしております。

CONTENTS -----

- ▼1. <WBC 事務局より> ～お知らせ～
【WBC ホームページを更新しました】

- ▼2. <WBC 事務局より> ～お知らせ～
【WBC Facebook を更新しました】

- ▼3. <横浜市及び WBC 事務局より>
【WBC インキュベートオフィスのご案内】

- ▼4. <WBC 入居企業より>
【ベトナム IT 現地商談会～参加される IT 企業様を募集します！～】

- ▼5. <WBC 事務局より> ～コラム「世界のあれこれ」～
【オランダに企業のヨーロッパ拠点が多い5つの理由】

- ▼6. <広報協力> ～IDEC よりお知らせ～
【台湾からのインターンシップ生受入企業を募集しています】

- ▼7. <広報協力> ～IDEC よりお知らせ～
【国際ビジネス相談会 毎月開催しています！！】



1. -----■□■
<WBC 事務局より> ～お知らせ～
【WBC ホームページを更新しました】

WBC ホームページでは、関係機関で開催されるセミナーやイベントのご案内などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ywbc.org/>

WBC では無料でビジネス相談を受け付けております。お電話や来訪での相談のほか、インターネットからのお問い合わせも可能です。

↓WBC 海外ビジネス相談はこちらから

<http://www.ywbc.org/cgi-bin/contact2/contact2.cgi?lang=ja>

横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC)
横浜市中区新港 2 丁目 2-1 横浜ワールドポーターズ 6F
TEL: 045-222-2030
FAX: 045-222-2088
E-mail : open@ywbc.org

■□■

2. -----■□■

<WBC 事務局より> ~お知らせ~

【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓WBC Facebook はこちらから

<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>

■□■

3. -----■□■

<横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後 3 年以上の事業計画があり、WBC を退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は 3 年以内となっています。

WBC に入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBC の会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBC の各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業の PR・お知らせ等でご利用いただけます。

↓WBC インキュベートオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベートオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp

■□■-----

4. -----■□■

<WBC 入居企業より>

【ベトナム IT 現地商談会～参加される IT 企業様を募集します！～】

ホーチミン市人民委員会 サイゴン商業公社 駐日事務所から、IT 商談会に参加される企業様 募集のお知らせです。

ホーチミン市の「クアンチュン・ソフトウェアシティ (Quang Trung Software City : QTSC)」は、ベトナム最大の IT パークです。

このたび、クアンチュン・ソフトウェアシティ (QTSC) はベトナム IT 企業団体「VNITO Alliance」と共催し、ベトナム・ホーチミン市にて「IT 商談会」を開催します。はじめに参加される日本企業様のニーズを汲み取り、それに合ったベトナム企業との商談を主催者側にてアレンジいたします。

ベトナムでは IT 産業を国策のハイテク産業の一つとして推進しており、IT 業界は毎年拡大しております。

ベトナムでのオフショア開発など、ベトナム企業とのビジネスをお考えの方はぜひご参加ください。

会場では当事務所の所長が日本語でご案内いたします。

*** クアンチュン・ソフトウェアシティ (QTSC) について ***

2001 年に設立されたベトナムで最初の IT パークです。ベトナム投資について「日本 IT 企業のための理想的な場所」として、2013 年にホーチミン市主催・横浜市経済局共催の投資誘致セミナーで紹介されました。優秀な人材の育成と高品質なソフトウェアの開発を続けています。約 43 ヘクタールの広大な土地に IT 企業 135 社のほか 20 カ国超の外国企業が入居し、(HP, IBM, TUV Rheinland, Globalcybersoft, GHP Far East, Digi-texx, Luxsoft など)22,000 人以上の豊富な労働力、年 25%の成長率を誇り、ベトナム政府の IT 事業推進モデルとなっています。

クアンチュン・ソフトウェアシティ (QTSC) の Web サイトは次のとおりです。

日本語 :

http://www.qtsc.com.vn/web/qtsc_japan/home

英語：

http://www.qtsc.com.vn/en_US/web/qtsc-english/home

*** ベトナム IT 現地商談会 開催概要 ***

- ◆開催日：平成 28 年 9 月 8 日(木)
- ◆会場：クアンチュン・ソフトウェアシティ (QTSC)
(ベトナム ホーチミン市)
- ◆主催：クアンチュン・ソフトウェアシティ (QTSC)
- ◆共催：VNITO Alliance
- ◆協力：サイゴン商業公社
- ◆商談会参加費：無料

※現地までの渡航費及び現地宿泊費、食費は実費ご負担ください。

※ご参加企業数が 3 社未満の場合は開催を中止する場合がございます。

◆ご参加の方法 (2 通りあります。)：

- 1 当事務所がご紹介するツアーをご利用になる方法
→申込締切は、平成 28 年 7 月 25 日です。詳細はお問い合わせください。
- 2 現地に直接お越しになる方法
→申込締切は、平成 28 年 8 月 26 日です。詳細はお問い合わせください。

◆お申込み方法：下記問合せ先までご連絡をお願いいたします。

<お問い合わせ>

ホーチミン市人民委員会 サイゴン商業公社 駐日事務所
横浜市中区新港 2-2-1 横浜ワールドポーターズ 6 階
横浜ワールドビジネスサポートセンター

TEL/FAX：045-222-2024

E-mail：satra.japan.office@ywbc.org

■□■

5. -----■□■

<WBC より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【オランダに企業のヨーロッパ拠点が多い 5 つの理由】

今回は、企業のヨーロッパ拠点がオランダに多い 5 つの理由をまとめてみました。

①立地の良さ

オランダには、ヨーロッパ最大の港・ロッテルダムと、欧州の主要航空貨物のハブ空港・スキポールがあります。オランダはヨーロッパ本土である上、この利便性の良さが評価されています。また、ロッテルダムは、そのヨーロッパにおける経済の重要性から、第二次世界大戦でドイツに爆撃の被害を受けました。ロッテルダムが他の街と異なり、伝統的な建物が少なく、先進的な建物が多いため、その爆撃のためです。

②英語の流暢さ

オランダはヨーロッパの非英語圏のなかで英語普及度が一番高い国だといわれています。その理由は、オランダ語の言語構造が英語に似ていること、世界的にオランダ語話者が非常に少なく、生き抜くために外国語を取得することを強いられたことなどが影響したといわれています。オランダに足を踏み入ると、都市部の観光従事者だけでなく、住むところも教育レベルも関係なく、相当なレベルの英語を話せることに驚かされます。

③経済立国としての歴史的経緯

オランダの主な産業は歴史的に、貿易と金融でした。

世界史において、地中海交易圏と、北海交易圏を結ぶオランダ、ベルギー周辺は歴史的に貿易が盛んだったことから、主産業の発達が見て取れます。

また、特にオランダのような、狭くて資源がない国にとっては、貿易をして経済立国であることが、国のためにとても大事なのです。

④先進性

オランダは前衛建築で有名なのが分かりやすい例ですが、とても先進的な国です。

尾木ママ推薦のオランダの教育、いち早くワークシェアリングを導入したオランダの労働環境、シュローダー邸やモンドリアン柄といった現代美術を語る上で欠かせないオランダの芸術など…ほかにも IT やテクノロジー、クリエイティブ、農業など様々な分野でオランダは世界初の取り組みをしています。

新しいことをすぐ取り入れるのはオランダの強みといえそうです。

2014年には、オランダが対日本人への労働ビザが不要となったとニュースになりました。

1912年に締結された「日蘭通商航海条約(The Treaty of Trade and Navigation between the Netherlands and Japan)」を根拠として、日本国籍者はオランダで「労働許可なく就労できる」との判断を下した、とのことでした。

ワーキングホリデーであっても行ける国が限られているなか、この改正は革新的だと話題になりました。

⑤国としての経済政策

オランダ経済省 企業誘致局(NFIA)オランダが選ばれる理由によると、

- ・オランダ法人税率は、日本企業にとって最も有利である 25% (2011 年より)
- ・高度な技術を持つ外国人従業員には、個人所得税の減免措置(いわゆる 30% ルール)
- ・持株会社には、有利な資本参加免税制度と租税条約による幅広いネットワークが適用
- ・税制面での問題をできる限り明確にし、税減免を約束するアドバンス・タックス・ルーリング制度

との記載があります。

法人税率が低く、オランダを拠点にしやすいようにしています。

以上の理由を見ると、オランダの歴史的背景からのアドバンテージを、さらに教育や政策の努力で伸ばして、他のヨーロッパ諸国の追随を許さない環境を作っていることがわかりました。

今までオランダに木靴や風車などのイメージしかなかった方も多いと思いますが、この機会に、オランダにビジネスの視点を向けてみるのはいかがでしょうか？

(執筆：国際税務を得意とする税理士)

■□■-----

6. -----■□■

<広報協力> ~IDEC よりお知らせ~

【台湾からのインターンシップ生受入企業を募集しています】

横浜企業経営支援財団 (IDEC) では、横浜市内企業の国際化を支援するため、台湾貿易センター(TAITRA)の機関である国際企業人材育成センター(ITI)学生の横浜市内企業へのインターンシップ受入事業を実施しています。

これまで、延べ 214 社の横浜企業が 244 名の台湾学生を受け入れ、自社の海外事業展開や社内の活性化などに 役立てています。

過去の受入企業からは「海外ビジネス展開の方向性を定める足がかりとなった」「台湾ビジネスアライアンスの 可能性を探る事ができた」などの声があります。

貴社でもインターンシップを受け入れて、海外事業拡大や従業員教育に役立ててみませんか。

*平成 28 年 7 月 25 日 (月) には、説明会を開催予定です。

募集概要

- ◆受入期間：平成 29 年 1 月 25 日（水）～2 月 15 日（水）
- ◆派遣元：台湾貿易センター・国際企業人材育成センター（ITI）
- ◆日本窓口：台湾貿易センター（TAIRTRA）東京事務所
- ◆募集企業数：20 社程度
- ◆1 企業あたりの受入人数：1～2 名程度
- ◆費用負担：なし

↓詳細はこちら

http://www.idec.or.jp/kaigai/whats_new/20160616105020.php

<お問い合わせ>

（公財）横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL：045-225-3730

FAX：045-225-3737

E-mail：global@idec.or.jp

■□■

7. -----■□■

<広報協力> ～IDEC よりお知らせ～

【国際ビジネス相談会 毎月開催しています！！】

地域別・テーマ別の国際ビジネス相談に、経験豊富な専門家が対応します。

無料の個別相談となっておりますので、お気軽にご利用ください。

毎月相談会を開催しているほか、ご都合に合わせて日程調整も可能です。

▼スケジュールはこちら▼

■タイ相談会 平成 28 年 7 月 20 日（水）専門家：石毛 寛人氏

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=834>

製造業、非製造業を問わず、多数企業の東南アジア展開支援経験をもとに、みなさまの市場開拓を支援します。また、既に東南アジア拠点をお持ちであれば、日本式の経営・組織運営と進出国現地事情の融合ポイントを探し、現地事情にあった新たな現地法人経営方法をご提案します。

■中国相談会 平成 28 年 7 月 22 日（金）専門家：菊地 大輔氏

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=835>

企業の資金的・人的体力に見合った中国市場参入方法を個別具体的に提案し、必要に応じて中国語や英語による実務サポートを行っております。

現場で培ってきたノウハウと中国バイヤーとのネットワークとそこから得られる生きた情報をご活用ください。

■韓国相談会 平成28年7月26日(火) 専門家:岡松 直勝氏

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=836>

一番近くて一番遠い外国・・・韓国。そこで17年余りを勤務し、色々な方と巡り合い個人的な様々な人脈を持たせた事、色々な貿易、事業投資ができた事が私の宝となっていると自負しています。出来るだけ判りやすく親切にご相談承ります。

■欧州相談会 平成28年7月28日(木) 専門家:蛭田 智晴氏

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=838>

『海外展開はアジアからと限定してしまう前にご相談ください。』 貴社の技術力・製品開発力はアジアに限らず世界に通じるものではありませんか？

フランスをはじめとした欧州からみた貴社の魅力・強みを効果的に発信する方法を助言させていただきます。あらゆる会社にグローバルニッチ企業となる可能性があります！

↓個別相談のお申し込み・専門家の検索はこちらから

<http://www.idec.or.jp/kaigai/soudan/index.php>

※事前申込制となります。

※相談時間は1社につき1時間程度です。相談会は13:00~17:00の間となります。

◆会場：横浜企業経営支援財団内

(関内駅、馬車道駅徒歩5分 横浜市中区太田町2-23

横浜メディアビジネスセンター7階)

◆参加費：無料

◆対象：横浜市内企業

<お問い合わせ>

(公財)横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL：045-225-3730

FAX：045-225-3737

E-mail：global@idec.or.jp

■□■-----

WBC のサービスご案内

WBC では下記のサービスを行っております。

- グローバルビジネスに関する相談（貿易相談など）
- レンタル・オフィスの提供および入居者のビジネス相談
- 引き合い情報の提供
- WBC メールマガジンの発行
- Facebook での情報発信

横浜ワールドポーターズのご案内

WBC は横浜ワールドポーターズの 6 階に入居しています。

横浜ワールドポーターズは、「いろんな世界がここにある」というコンセプトのもと、ファッション、インテリア、雑貨、グルメ、フードなど個性豊かなショップが揃うエンターテインメントショッピングセンターです。5 階には 3D 対応のイオンシネマみなどみらも併設されており一日中お楽しみいただけます。

<http://www.yim.co.jp/index.html>

WBC メールマガジン発行について

横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）は、横浜市からの委託を受け、下記事業者が管理運営業務を実施しています。

発行者： 横浜ワールドビジネスサポートセンター
〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1
横浜ワールドポーターズ 6 階
TEL: 045-222-2030 FAX: 045-222-2088
<http://www.ywbc.org/>
<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>

事業受託者： 株式会社パソナ
〒100-8228 東京都千代田区大手町 2-6-4
TEL: 03-6734-1270 FAX: 03-6734-1274
<http://www.pasona-global.com/>

事業委託者： 横浜市経済局 誘致推進課
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL: 045-671-3834
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/yuchi/>

◆本メールマガジンに関してお心当たりの無い方は、本メールをこのままご返送ください。

◆本メールマガジンへのご感想ご要望は、mmq@ywbc.org にお願ひ致します。

◆購読申し込み、購読中止手続き <http://www.ywbc.org/mm/>

©;株式会社パソナ 無断転載を禁じます。
